

周南公民館 館報ひろば

樹木医のつぶやき

のまとめ



発行に寄せて

周南公民館 館長 渡邊 由希夫

平成21年9月から平成28年6月までの約7年間にわたり、周南公民館報「ひろば」に連載された樹木医の小池英憲さんの『樹木医のつぶやき』を情報誌としてまとめ、発行することになりました。

樹木医とは、樹木の診断及び治療、後継樹の保護育成並びに樹木保護に関する知識の普及・指導を行う専門家です。7年以上の業務経験を持つ方が、(財)日本緑化センターが主催する樹木医の研修を受講し、資格審査に合格しないと取得できない資格で、平成27年12月現在、全国で2565人が登録されていると聞いております。

小池さんは長い間内山緑地建設に勤める傍ら、樹木医の資格を取得し、君津地域のたくさんの方の樹木の診断・治療を行ってこられました。

特に周南地域においては、浜子の建暦寺のカヤノキの治療・保護育成や、「すなみ巨樹・古木・名木マップ」の作成、また、数々の公民館事業での講師も務められています。

さて、本冊子は、庭木の手入れの仕方について、小池さんが職業柄身につけた豊富な知識や経験をわかりやすくまとめられています。ご一読いただきみなさまのご家庭の庭や裏山の樹木の手入れに役立てていただければ幸いです。

周南公民館と私

樹木医 小池 英憲(宮下)

「ひろば・樹木医のつぶやき」に関わって七年が経ちました。そろそろ皆さんにお伝えする事が無くなって来ましたので一つの区切りとして連載を終了することになりました。これまでの連載記事をまとめて頂き感謝申し上げます。

本稿でお伝えしようと思った事は、日頃お庭の管理をする時参考になる事でしたが、いかがでしたか。読み返して見ますと、根の話と寒肥の話が沢山出てきますが、これは樹木が健康に育つには最も重要な事と考えたからです。丁度これからお庭の手入れの季節です。本冊子をお読みになった方は、今年こそは寒肥を実施してください。

会社勤めの頃は、公民館の場所さえ知らない私が公民館とのお付き合いがこれほど長くなるとは想像もしていませんでした。

公民館の色々な活動で、公民館職員をはじめ多くの仲間のおかげで自分の居場所が出来たようです。

これからも、微力ですがお役に立てる活動が出来れば良いと思っております。

目次

発行に寄せて・・・・・・・・・・・・・・・・	1
周南公民館と私・・・・・・・・・・・・・・・・	1
この冊子について・・・・・・・・・・・・・・・・	2
樹木医のつぶやき・・・・・・・・・・・・・・・・	3
資料編・・・・・・・・・・・・・・・・	37

あとがき



連載第1回の紙面
 (「顔」コーナーでの自己紹介)

この冊子について

本冊子は、周南公民館報「ひろば」の211号(平成21年9月3日発行)から245号(平成28年6月2日発行)に連載されていた『樹木医のつぶやき』を掲載したものである。このコーナーは、館報ひろば編集委員会から樹木医の小池英憲氏(宮下)に依頼して執筆いただいていた。

連載が終了したことから、これまでの内容のまとめとして本冊子作成を発行することになった。

*原則的には掲載当時の表記としたが、本冊子作成にあたり一部再編集した箇所もある。

*「ひろば」掲載時は、回数重複や誤りがみられたが、実際の連載は30回であった。

なお、後半には小池氏がこれまで周南公民館の各種主催事業で実施した講義などの資料や発表原稿等を掲載した。